

知の創造を支える人財とは何か？

～AI for Scienceと研究基盤に焦点を当てて～

主催 日本学術会議若手アカデミー学術の未来を担う人材育成分科会
一般社団法人研究基盤協議会

場所 筑波大学・大学会館国際会議室(現地定員 100名・先着)/
オンライン(Zoom定員 500名・先着)

日時 令和8年(2026年)1月28日(水)14:00～17:00

参加無料・要事前申込
(締切:2026/1/20)



我が国が知の最前線を牽引するためには、研究者、技術者、事務職員、URA など多様な研究人財(「人は財(たから)である」との意味を含めて、「人材」ではなく「人財」と表記する)の存在が不可欠である。しかし、博士課程進学者の減少や就職機会の限定により、人財確保は年々困難となり、研究基盤の弱体化が懸念される。特にAI for Science や先端大型研究施設分野では需要が急増している。そこで本シンポジウムでは、今後求められる資質・能力の検討、人財の確保と体系的育成の方法について、アカデミア・実務・政策の視点から課題を共有し、実践的に議論する。

◆司会 山田 知沙(一般社団法人研究基盤協議会技術職員コンソーシアムコーディネーター/
山口大学総合技術部技術専門職員)

開会挨拶

14:00 小野 悠(日本学術会議連携会員/若手アカデミー代表/豊橋技術科学大学大学院工学研究科准教授)

活動紹介

14:10 小野 悠(日本学術会議連携会員/若手アカデミー代表/豊橋技術科学大学大学院工学研究科准教授)

江端 新吾(一般社団法人研究基盤協議会代表理事・会長/
東京科学大学戦略本部教授・理事特別補佐(総合戦略担当))

未定(文部科学省次の一手チーム)

パネルディスカッション

14:40 ◇ファシリテーター 小川 剛伸(日本学術会議連携会員/若手アカデミー学術の未来を担う人材育成分科会委員長/
京都大学大学院農学研究科助教)

◇パネリスト 杉本 舞(日本学術会議連携会員/若手アカデミー学術の未来を担う人材育成分科会委員/
関西大学社会学部教授)

川口 慎介(日本学術会議連携会員/若手アカデミーワーク・ライフ・バランス分科会委員長/
国立研究開発法人海洋研究開発機構主任研究員)

未定(一般社団法人研究基盤協議会/
〇〇大学〇〇技術専門職員)

未定(一般社団法人研究基盤協議会/
〇〇大学〇〇技術専門職員)

未定(文部科学省次の一手チーム)

未定(文部科学省次の一手チーム)

質疑応答

16:20

総括・閉会挨拶

16:40 江端 新吾(一般社団法人研究基盤協議会代表理事・会長/
東京科学大学戦略本部教授・理事特別補佐(総合戦略担当))